

(*^o^)/ (^_^*)

ふたばの和

れ愛

すけ愛

あじいも元気

どか

十五町内の輪



二葉地区町内会長会

ご あ い さ つ

この様な立派な冊子の発行にあたり、ご挨拶できる事を誇りに思い同時に恐縮をしています。私は緑町2丁目町内会長であり、二葉地区町内会長会の会長に今年の4月に就任致しました藤田三男と申します。



二葉地区町内会長会は、5年前に二葉小学校区の15町内で構成され発足しました。初代会長は新井田地区町内会長の高橋正さんで、2代目会長が当時の島潟町内会長の渋谷正訓さんでした。歴代の会長が、二葉地区に大変に素晴らしい功績を残されている中で、3代目会長への就任とこの度の二葉地区福祉活動計画を策定に関する話がありました。皆さんご存知のとおり、二葉地区は国道7号線を挟んで加治川寄りに11町内、市街地側に4町内がありますが、豊かで恵まれた自然環境など各町内にはそれぞれの特徴があり、生まれ育った環境に大きな違いがあると感じています。そのような中で、他の町内と同じ土俵に上がって話し合いをして、福祉活動計画の策定ができるのか疑心暗鬼でしたが、6・7・8月と月に一度の懇談会は予想を上回る参加者と盛り上がり見せ、結果的に成功裡に終えたと考えています。懇談会が終わった後も、二葉地区は環境的な違いが大き過ぎて纏めるのが難しいという声が聞こえてきます。事実その通りであると思いますが、反面、二葉地区特有の歴史や文化を聞いて新たな発見をした思いもあります。各町内には、それぞれの地域に根ざした伝統や慣習といった独自の文化が存在し、それらすべてを含めて二葉地区であり、こうしたお互いの文化を尊重し、本当に住みよい、あるべき町の姿を夢見て発展させて行くことが私たちの努めと考えております。

結びに、日頃から地域の実情を真摯に見つめ、二葉地区の現状と将来について真剣に議論をし、ご意見を頂きましたすべての皆様に心から感謝を申し上げご挨拶とします。

平成27年12月

二葉地区町内会長会 会長 藤田 三男

目 次

1	地域伝言板	
	(1)二葉地区の特徴	1
	(2)二葉小学校が完成(誕生)するまで	2
2	計画の概要	
	(1)二葉地区福祉活動計画とは	3
	(2)二葉地区福祉活動計画の目的	3
	(3)二葉地区福祉活動計画の推進に向けて	3
	(4)二葉地区福祉活動計画づくりの意義	4
3	地域の魅力と現状	
	(1)地域の魅力について	5
	(2)地域の現状について	5
4	福祉活動計画	
	(1)基本理念(スローガン)	6
	(2)基本目標	6
	(3)計画の実現に向けて	7
5	策定方法	
	(1)二葉地区福祉活動計画策定団体等	10
	(2)二葉地区福祉活動計画策定経過	11
	(3)二葉地区福祉懇談会で出された意見	12
6	参考資料	
	「新発田市地域福祉(活動)計画」の基本理念と体系	19
	二葉地区福祉懇談会回覧	21



1 地域伝言板

緑と水・田園文化が息づく二葉地区



(1)二葉地区の特徴

■ 計画的に整備された新興住宅地のある地区

市街化区域である国道7号の内側は計画的な基盤整備が行われ、良好な住宅地を形成しています。

■ 商業が盛んな国道7号沿い

市内の主要幹線道路である国道7号沿いには雑多な店舗が立ち並んでおり、沿道型商業地を形成していますが、景観上の規制はされていません。

■ 優良な農地に囲まれた農村集落がある

国道7号の外側は優良な農地と農村集落からなる市街化調整区域で、無計画な宅地化はされておらず、土地利用は良好です。

■ 田園や河川、集落林などの農村的景観に恵まれている

農村集落と田園景観に加え、中田川や加治川などの河川が美しい集落景観を形成しています。

■ 工業と住宅地が混在しているところがある

国道7号の内側には住居系の地域に接して準工業地帯がありますが、一部で用途の混在がみられます。



加治川の桜は、かつて川岸に6,000本の桜が数十キロにわたって連なり「長堤十里日本一」とうたわれた名所であった

災害年表（近現代）

二葉地区

明治 6年 (1873)	新井田で大火 (70戸焼失)
明治30年 (1897)	島潟 (当時島塚村) 前年の水害後の仮締めきり破堤 (105間) その他決壊16ヶ所
明治35年 (1902)	西名柄 (当時島塚村) 破堤 (120間) 坂井川決壊 (396間)
昭和41年 (1966)	7.17水害 西名柄地区破堤 (400m) 市に災害救助法
昭和42年 (1967)	8.28水害 西名柄地区前年の決壊箇所再度破堤、下高関、上内竹破堤 坂井川麓、ノ切地内破堤 市に災害救助法

～資料 城下町新発田400年のあゆみ～

(2)二葉小学校が完成(誕生)するまで

- 【昭和39年度】** 4月に二葉小学校が誕生。名前はあるも校舎はなく、中井、島塚校舎にわかれて勉強した。8月に地鎮祭があり秋から冬にかけて工事がはじまった。
- 【昭和40年度】** バイパスは工事中。全くの田んぼの中に第一期工事のつちの音がひびき、4月には校舎の一部ができた。当時としては市内唯一の近代的なもので、さっそく5・6年生が、この校舎で勉強することになり、二葉小学校は本校舎、中井校舎、島塚校舎の三つにわかれた。
- 【昭和41年度】** 完全統合実現
2校舎制から3校舎制、そして完全統合が実現した。
2期工事、3期工事（屋内体育館）が完成し、全校児童がひとつの校舎に入り、名実ともに二葉小学校になった。この年7月17日すさまじい水害におそわれた。しかし、この苦難を乗り越え、校舎の建設、校庭の整備が進められた。校旗や校歌ができたのもこの年である。
- 【昭和42年度】** 7月に4期工事が測量され、8月に二年続きの大水害にあい、12月に工事完成を喜びあった複雑な年であった。
- 【昭和43年度】** 水害の爪痕もようやく消え、内外ともに充実し、力強い前進をはじめた年。子どもたちの待ち望んでいたプールもできた。
- 【昭和44年度】** グランドや前庭などの整備を進め、落ちついた環境作りに力を入れた年。子どもたちの活動も多彩になった。
- 【昭和45年度】** 3階までの水洗便所完成。対外的にも子どもたちの活動の場がひろがり、内では、待ち望んでいた校舎の竣工式を迎えた年。

二葉小学校

(昭和39年4月統合新設)

中井小学校 (明治20年設置)

島塚小学校 (明治9年設置)

◆◆◆ 校名の由来 ◆◆◆

「せんだん 梅檀ふたばはかんば双葉より芳し」
ということわざが由来



島塚小学校



中井小学校

～忘れられない大水害～

昭和41年7月17日、昭和42年8月28日、2年続けて恐怖の大水害に襲われた。



～平成26年に創立50周年～

創立から50周年を迎えた平成26年夏休み明けから新校舎で授業開始、同年10月26日に新校舎竣工式がおこなわれた。



資料：二葉の半世紀物語



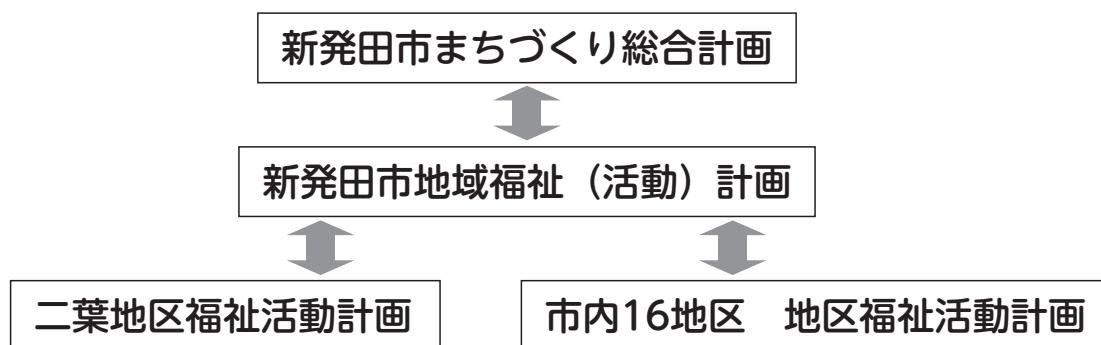
2 計画の概要

(1) 二葉地区福祉活動計画とは

少子高齢化社会を迎え、社会全般が大きく変化している中、行政への市民要望は年々増大していますが、一人ひとりに適したきめ細かなサービスを行政だけの力で提供することは困難になっています。このため、市民が自立した生活をめざし、地域での福祉を「支え合い」によるシステムという新たな視点で再構築し、維持していく仕組みをつくりあげることが重要となっています。

新発田市は「まちづくり総合計画」の中で、目指すべき将来都市像を「住みよいまち日本一 健康田園文化都市、しばた」としています。その基本理念の下に、新発田市地域福祉(活動)計画は、「しばたに住んで良かった。」と市民が言えるよう、地域において市民や福祉関係者、社会福祉協議会、行政、関係機関などが相互に知恵を出し、力を合わせながら、高齢者や障がい者など支援が必要な市民が地域で安心して生活を送ることができる“共生社会”の実現を目指しています。

「二葉地区福祉活動計画」は、地域の中で問題となっていること、困っていることなどを「地域みんなの問題」として捉え、話し合い、取り組んでいくための指針であり、「新発田市まちづくり総合計画」、「新発田市地域福祉(活動)計画」に基づいた計画です。



(順次策定しています。)

※地域福祉とは、「適切な地域を単位として」「地域住民が主体となり」「地域課題の解決に向けて」「自治会と行政なども含め」「お互いに知恵を出し合い」「支え合っていく」ことです。

(2) 二葉地区福祉活動計画の目的

二葉地区に対する想いを語り合うことを通して、「地域の現状や課題」、「地域でできること」、「自分でできること」、「こうなったらいい」などを一緒に考え住民主体の地域福祉づくりを市民や福祉関係者、社会福祉協議会、行政、関係機関などと連携して進めていきます。高齢者や障がい者など支援の必要な市民が地域(二葉地区)で安心して生活できる“共生社会”の実現をみんなで目指します。

(3) 二葉地区福祉活動計画の推進に向けて

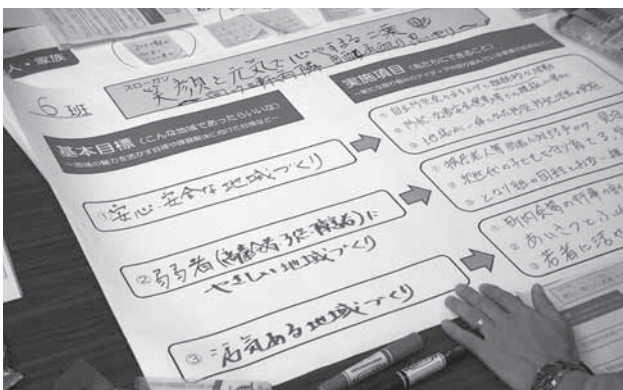
計画づくりの過程を通じ、みんなで同じ方向を向いて協働していくために、地域の課題や目標を共有しましょう。その上で、二葉地区の中長期的な目標として位置づけ、市民や福祉関係者、社会福祉協議会、行政、関係機関などが連携して取り組みを進めていくことが重要です。

(4) 二葉地区福祉活動計画づくりの意義

二葉地区福祉活動計画を地域のみなんで作ることで

- ① 地域の課題や目標を関係者で共有し、同じ方向を向いて**協働**することができる。
- ② 計画を公表することで、地域の福祉活動について、広く地域住民の**理解**と**協力**が得られる。
- ③ 中長期的な見通しを持って、**段階的・継続的**に取り組んでいくことができる。
- ④ 活動の**優先順位**や**重点**がはっきりする。
- ⑤ 活動がうまく展開されてきたか振り返り、次の**課題**を明らかにすることができる。
- ⑥ 計画づくりの過程で人が育ち、地域の関係者の**連帯**も強くなる。

みなんで作る二葉地区福祉活動計画





3 地域の魅力と現状

二葉地区福祉懇談会で見てきた地域の魅力と現状

二葉地区に住んでいる子どもから高齢者まで、すべての住民が地域においていきいきとした生活を送ることは二葉地区住民のみんなの願いです。

この願いの実現に向けて、市民や福祉関係者、社会福祉協議会、行政、関係機関などが協働しながら、みんなで二葉地区福祉活動計画を策定しました。

計画策定の具体的作業として、平成27年6月～平成27年8月まで3回にわたり福祉懇談会を開催し、地域の現状や福祉に関わる様々な課題について、話し合いをまとめました。

(1) 地域の魅力について

①地域活動について

- ・多くの人地域行事に参加している
- ・町内会活動が活発である
- ・地域の祭りがある
- ・高齢者の交流の場がある
- ・ボランティア活動が活発である

②つながりについて

- ・人と人とのつながりがある
- ・お互い助けあいの心がある
- ・近所同士のつながりがとても良い
- ・あいさつ、声かけなど積極的である

③地域性について

- ・素直で元気な子どもが多い
- ・田畑があって自然豊かである
- ・子ども達の仲が良い
- ・加治川の桜がすばらしい
- ・緑が多く四季を感じる
- ・交通の便が良い

(2) 地域の現状について

①地域について

- ・未婚者が多い
- ・町内会活動参加者が少ない
- ・空き家が増えている
- ・公園でのマナーの悪い人が増えた
- ・一人暮らしの高齢者が増えている
- ・町内の組織が少なくなっている

②生活について

- ・公共交通機関まで遠い
- ・交通量が多くなり事故が多くなった
- ・ゴミのポイ捨てが多い

③つながりについて

- ・近所つき合いが少ない
- ・少し離れた年代の方になると顔と名前が一致しない事がある

④後継者不足について

- ・高齢者世帯が多くなり子どもや若者が少ない
- ・町内会や団体などの役員のなり手がいない

4 福祉活動計画

二葉地区福祉活動計画

(1) 基本理念(スローガン)

二葉地区に住む住民一人ひとりが地域活動に積極的に関わり、お互いを個人として尊重しあい、生きがいや充実感をもちながらその人らしい生活ができることを目指していくことが大切です。こうしたことから次のとおり計画の基本理念を定めました。



(2) 基本目標

福祉懇談会で話し合われた地域の現状や福祉に関わる様々な課題に基づき、計画の基本目標を次のとおりとしました。

基本目標 1	みんなで作ろう 安全安心な二葉地区
基本目標 2	みんなにやさしい二葉地区
基本目標 3	みんなの顔が見える二葉地区
基本目標 4	みんなで支えあう二葉地区
基本目標 5	みんなの活気あふれる二葉地区
基本目標 6	みんなで自然を愛する二葉地区



(3) 計画の実現に向けて

目標達成の具体的な取り組みの例 → 福祉懇談会では
自分達でどんなことができるのか
アイデアを出し合いました。



- ◆基本目標 = こんな地域であつたらいいな
- ◆実施項目 = 私たちにできること(取り組みの例)

基本目標 1 みんなでつくろう 安全安心な二葉地区

目 標		実施項目(取り組みの例)
1	安全安心な地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自主防災の体制を確立する ・ 防災訓練に参加して防災意識を高める ・ 地域が一体となった防災訓練の実施 ・ 小学校を含んだ関係機関との連携 ・ 継続的な自主防災活動の実施 ・ 防犯活動の実施 ・ 防犯・交通安全運動等に参加する
2	支え合いのある地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・ 二葉っ子を地域で見守る ・ 子どもの登下校時の見守りをする ・ 一人暮らし高齢者への声かけをする ・ 高齢者や障がい者への手助けをする(見守り、除雪など) ・ 共助の精神を高める

基本目標 2 みんなにやさしい二葉地区

目 標		実施項目(取り組みの例)
1	高齢者・障がい者・子どもにやさしい地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・ とおり近所の助け合いとお互い様の精神を大切にする ・ デマンド交通やコミュニティバスが走る地域づくり ・ 買い物などのお手伝いをする ・ 次世代の子どもを地域で守り育てる ・ ボランティアの心を育て助け合う ・ 地域で声かけや見守り活動をする

基本目標3 みんなの顔が見える二葉地区

目 標		実施項目(取り組みの例)
1	コミュニケーションを高める地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・モラル・マナーの向上を図る ・向こう三軒両隣の復活を図る ・地域のふれあい活動の実施
2	世代間のつながりがひろがる地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・となり近所同士のあいさつ声かけをする ・町内行事に関心をもって協力しよう! ・小学校との連携強化を図る ・ふるさと写真展を開催する
3	子どもからお年寄りまで顔の見える地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつ・声かけ運動の実施 ・子どもからお年寄りまであつまる場所や会をつくる ・植栽活動、クリーン作戦にみんなで参加する ・困っている人に手をさしのべる

基本目標4 みんなで支えあう二葉地区

目 標		実施項目(取り組みの例)
1	支え合いの人の輪が広がる地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・元気でつながるあいさつの実施 ・笑顔で接する ・思いやりのある行動をする ・コミュニケーションを高める
2	助け合い活動で地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもとお年寄りの見守りをする ・認知症について学ぶ機会をつくる ・行政や民生委員児童委員など相談先を周知する ・適度なおせっかいをする ・一人暮らし世帯へのボランティア活動の実施





基本目標5 みんなの活気あふれる二葉地区

目 標		実施項目(取り組みの例)
1	地域の輪 活気ある地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・地域全体で子どもを育てる ・高齢者、一人暮らしの世帯など孤独にさせない ・地域全体への声かけ ・積極的にあいさつをする ・地域の人とのつながりを大事にする ・あいさつとふれあいコミュニケーション
2	積極的に参加できる地域づくり ～若者の積極的参加～	<ul style="list-style-type: none"> ・町内会等の行事への計画・実行・参加 ・さまざまな団体を巻き込んで楽しい行事を企画する ・一人ひとりが自ら行事に参加する ・口コミで声をかけ誘い合う ・若者が活躍できる場所づくり(町内会・ボランティア等)

基本目標6 みんなで自然を愛する二葉地区

目 標		実施項目(取り組みの例)
1	団結の輪 住みよい環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・町内の環境、美化運動に積極的に参加する ・伝統文化を守り継ぐ
2	自然豊かな地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・自然が豊かで住み良い地域づくり ・水のきれいな蛍の住む地域づくり ・農業体験の機会をつくる



5 策定方法

(1) 二葉地区福祉活動計画策定団体等

二葉地区福祉活動計画は、町内会長会を中心に民生委員児童委員や主任児童委員、保健自治会、子供会、サロン会、老人クラブ、自主防災会、農家組合、二葉小学校PTA、さんさん館i、地域包括支援センターなどの人達が福祉懇談会を開催し、地域の現状及び課題を把握して、基本目標、具体的な取組事例として策定しました。

■二葉地区町内会長会（15町内会）

1	緑町2丁目町内会
2	新井田町内会
3	新富町二丁目町内会
4	新富町三丁目町内会
5	小舟町1丁目町内会
6	中田町町内会
7	小舟渡町内会
8	あやめ団地町内会
9	島潟町内会
10	西名柄町内会
11	下名柄町内会
12	長畑町内会
13	中谷内町内会
14	桑ノ口町内会
15	道賀町内会

- 民生委員児童委員
- 自主防災会
- 主任児童委員
- 農家組合
- 保健自治会
- 二葉小学校PTA
- 子供会
- さんさん館 i
- サロン会
- 新発田中央地域包括支援センター
- 老人クラブ
- 新発田南地域包括支援センター





(2) 二葉地区福祉活動計画策定経過

年 月 日	会 議 等	内 容
平成27年4月4日	二葉地区町内会長会 (中井保健センター)	・二葉地区福祉活動計画について説明 (参加者21名)
平成27年4月9日	打合せ (中井保健センター)	・地域福祉懇談会について 二葉地区町内会長会三役と事前打合せ (参加者10名)
平成27年6月24日	第1回二葉地区福祉懇談会 (子どもの館)	・「二葉地区福祉活動計画」勉強会 ・グループワーク1 ①私たちの地域のいいところ ②身近なところで困っていること ③こんな地域であつたらいいな ④私たちにできること ・グループ発表 (参加者90名)
平成27年7月15日	第1回 二葉地区福祉懇談会 実施報告 回覧	
平成27年7月22日	第2回二葉地区福祉懇談会 (中井保健センター)	・グループワーク2 前回の振り返り及びまとめ 地区の現状と課題の整理 計画の基本目標の検討 ・グループ発表 (参加者81名)
平成27年8月19日	第3回二葉地区福祉懇談会 (中井保健センター)	・グループワーク3 前回の振り返り及びまとめ 基本目標の検討 スローガンの検討 ・グループ発表 (参加者73名)
平成27年8月20日	第2回 二葉地区福祉懇談会 実施報告 回覧	
平成27年9月6日	第1回編集委員会 (中井保健センター)	・二葉地区福祉活動計画の基本理念、基本目標 などの検討 (参加者20名)
平成27年9月15日	第3回 二葉地区福祉懇談会 実施報告 回覧	
平成27年10月17日	第2回編集委員会 (中井保健センター)	・二葉地区福祉活動計画の目標に向けた実施項目 などの検討 (参加者19名)
平成27年11月28日	二葉地区町内会長会 (中井保健センター)	・二葉地区福祉活動計画の編集経緯及び策定状況 について報告 (参加者16名)
平成27年12月5日	第3回編集委員会 (中井保健センター)	・二葉地区福祉活動計画(案)修正・確認等 (参加者19名)
平成27年12月19日	二葉地区福祉活動計画報告会	・二葉地区福祉活動計画の編集経緯及び策定に ついて報告 (参加者59名)
平成27年12月		・二葉地区福祉活動計画完成

(3) 二葉地区福祉懇談会で出された意見

グループに分かれて、地域の現状や課題を共有し、地域の皆さんで支え合いの知恵を出し合いました。懇談会で皆さんが話し合われた意見をご紹介します。（グループごとに掲載しています）

1 私たちの地域のいいところ

- ・ 今日のように一声でこれだけ集まる姿が良い
- ・ 昔から住んでいる方が多いので、人と人とのつながりがある
- ・ とおり近所のつきあいが多い
- ・ お互い助けあいの心がある所
- ・ 比較のおとなり等のことに気配りをしている
- ・ 気軽に誰にでも声をかけあえる
- ・ 出会う人同士があいさつする
- ・ 朝・夕などあいさつをしてくださって気持ちが良い
- ・ 子ども（小中学生）のあいさつが良くなった 学校の指導だと思う
- ・ お年寄りの方が健康でいきいきして、声をかけあってくださっている
- ・ 道で会った時、町内のお互いの世帯の話が多いように感じております
- ・ 民生委員さんが一人暮らしの方を気にかけてくれている
- ・ 町内の人達がよく分かる
- ・ 世帯数が少ないので、子ども達の顔を覚えてもらっています！
- ・ 町内では班単位で横のつながりがある
- ・ 高齢者が集まれるふれあいルームがある
- ・ 町内で今年度自主防災会を発足しました
- ・ 地域に「大宮講」があります！
- ・ 二葉学区の町内会長は気さくでつきあいが良い
- ・ 二葉・本丸学区は文武両道の学生が多い
- ・ 町内での清掃ボランティアをする人が数人いる
- ・ 田畑があって自然豊か
- ・ 二葉地区全体が大変きれいだである
- ・ のんびりした田舎で住みやすい
- ・ 静かで良い
- ・ 交通の便が良い
- ・ コミュニティバスがアクセスしていて便利である
- ・ 買い物が便利
- ・ 町部・農村部が混住化で子ども達の行動範囲が広がる
- ・ 子ども達が元気で異学年での交流がある
- ・ 年齢問わず、あいさつをしてくれる
- ・ 子どもからあいさつ、お年寄りのあいさつがよい
- ・ あいさつ、声かけなど積極的
- ・ 子ども達がいきいきしている
- ・ 近所の方がうちの子だけでなく、町内の子を見守ってくれ、おかしいな？と思うところは指摘してくれる
- ・ とおり近所との人間関係が良い（風通しが良い）
- ・ 近隣トラブルが少ない
- ・ 近所同士のつながりがとても良い
- ・ ご近所つきあいが良い
- ・ 多く出来た野菜を配り合ったり、仲が良い所
- ・ 町内のつながりを深めるため誰でも参加できるサロン会がある
- ・ 町内で絆の会を立ち上げレクリエーション等をやっている
- ・ 町内行事に参加する人が増えてきている
- ・ まつりでは 子ども、大人年齢問わずとても協力してまとまってやっている
- ・ 80戸くらいの町内会なので祭りなどなんでもできる
- ・ 防犯組織があり定期的に巡回し防犯活動に努めている
- ・ 加治川の桜が身近に見える
- ・ 堤防を散策路として利用している
- ・ 緑があり、道路も広い
- ・ 緑が多く四季を感じる
- ・ 空気がきれい
- ・ 環境が良い
- ・ 顔や名前が分かるので、あいさつをすること
- ・ 高齢者が元気
- ・ 子どもが仲よしなので、町内が顔見知りであいさつを行う
- ・ 小学校同窓生のヒューマンリフレッシュのすばらしさ
- ・ 元気があり明るい
- ・ 医院・コンビニ・スーパーが近くにあり、便利
- ・ 公園もあり、子ども達があそぶ所がある
- ・ 災害リスクが少ない
- ・ 近くに医院（医療機関）が有り便利
- ・ 介護施設は二ヶ所、都市公園二ヶ所、ゲートボール場二面ある
- ・ 町内に隣接して国道がある（7号線、290号線）
- ・ 道路が広い
- ・ 新発田駅に比較的近く通勤・通学に便利
- ・ 二葉小学校が明るくきれいである
- ・ 二葉小には素直で元気な子どもが多い
- ・ 治安が良い
- ・ 町内に自主防災会防犯委員会があり安心、安全があります
- ・ 加治川の桜がすばらしい





- ・自然がたくさんある
- ・緑が多い
- ・景色（田、川、山）
- ・町内行事（祭り、納涼会、餅つき、草花植栽活動等）が活発である
- ・多くの人が地域行事に参加している
- ・町内世帯数が60世帯で、それも昔からの世帯で何事もまとまり易い
- ・山・川・田園等 自然が豊かである
- ・周囲が田園で空気がおいしい
- ・田んぼがいっぱいでどかです
- ・田んぼ・畑・花・緑が美しい
- ・桜が綺麗！
- ・新発田川に蛍がいる
- ・地域内の川に鯉を放流し飼育している 住民が楽しんでいる
- ・新発田市の水道はおいしい！！
- ・集落のつながりがある
- ・町内会事業活動に協力的で集まりがよい
- ・町内会活動が活発である
- ・町内で祭りを毎年行っている
- ・近所づきあいがある
- ・気づきを連絡してくれた・連絡してくれる
- ・町内では、特に子ども達を含め 朝 昼 夕 の元気なあいさつをしています
- ・団地は皆、仲が良い
- ・健康づくりへの声かけ（茶の間、ラジオ体操）
- ・朝・夕 走ったり、散歩したりする人が目立つ
- ・お年寄りを大事にしている
- ・人と人が平等
- ・元気な高齢者が多い
- ・子ども会のお母さん方が元気！
- ・国道七号線がある
- ・市街地に近い 買い物等に便利
- ・小中学校が近くにある
- ・美味しいお店が多い
- ・事故・事件があまりない
- ・子どもが遊びやすい
- ・比較的新しい町 若い人が多い
- ・町内会費が安い
- ・楽しいことを企画して行う 食事会（バーベキュー）大人15人、子ども20人楽しく行う
- ・子ども達があいさつしてくれる
- ・ご近所と気軽にあいさつが出来る
- ・会ったらあいさつしてくれる
- ・あいさつが誰とでも楽しく出来る
- ・となり近所、声をかけあっている
- ・地域との関係が良い
- ・となり近所とのつきあいがある
- ・お互いに助け合うことが負担なくできる
- ・行事があり、参加者が多い
- ・行事・ボランティア活動が活発である
- ・毎年町内でお祭りをやっている
- ・子ども会、町内会でウォーキング
- ・集落の共同作業があり、交流の場がある
- ・公会堂をつかってそれぞれの年代で集まる会がある
- ・高齢者の交流の場がある
- ・熟年会（老人クラブ）活動が活発である
- ・女性が年代別グループを作り懇親を深めている
- ・国道に近い
- ・新潟市に行くのに便が良い
- ・コンビニが近くにあり、生活用品がすぐに手にはいる
- ・税金が安い
- ・農村地域でのんびりしている
- ・自然環境が良く交通の便が良い
- ・周囲が田んぼなので風通しがよく涼しい
- ・若い世帯が増加（新築）
- ・子ども達が「あれ？」と思ったことを、すぐに町内会長さんに自ら報告して対応してくれる
- ・子どもの数が少しずつ増えて来た
- ・集団登校がとてもよい（子ども達仲が良い）
- ・地域に御近所の会を立ちあげている
- ・今年自主防災会を立ち上げた
- ・電話連絡網と町内のハザードマップができた
- ・水害後、助け合いが出来るようになった
- ・子どもも大人もあいさつが良い
- ・近所の人と話しやすい 声が掛けやすい
- ・住んでいる人の出入りがあまりないので、知っている人が多い
- ・個性のある人が多い
- ・何ごとにも協力し合える
- ・環境整備に気をつけている 玄関前のお花がきれい
- ・公園道路の草とりに子ども 大人 たくさん集まる
- ・町内行事に大勢参加していただける
- ・地域活動が色々盛んである
- ・一人暮らしの人への目配り、気配りをしている人が多い
- ・地域の人の情報をそれとなく知らせてくれる
- ・季節に応じた催しがあり、人とのつながりが出来てとても良い（納涼会、もちつき大会など）
- ・世代交流がスムーズに進んでいる
- ・同年代の人々が毎月ふれあいセンターで会って、お酒を飲んで楽しくやっています
- ・昔からまとまりが良く集落全体の意見集約等もスムーズに出来る 集落行事もいくつかやっている
- ・話し合いができる（気持ちが通じる）

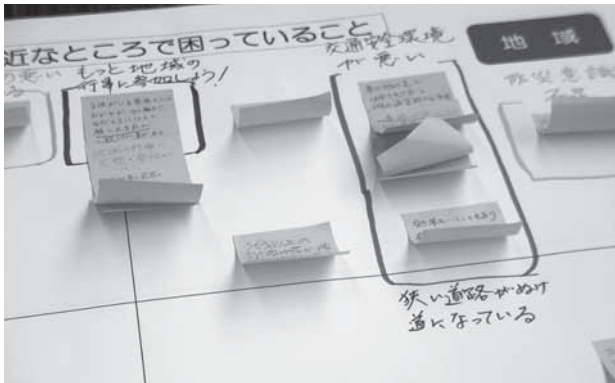


2 身近なところで困っていること

- ・他人の悪い事を一部の人達に言う
- ・小中学生が少ない
- ・平日、若い人が町内にいない
- ・宅地開発が一斉のため30～40代で入居、一斉に高齢化になった
- ・高齢者世帯が増えて、将来空き家が多くなるのでは？
- ・町内の役員のなり手がなかなかいない
- ・町内の組織が少なくなってきている
- ・町内会その他組織の役員のなり手が少なく同じ方がそれを担っている
- ・冬場の除雪体制がイマイチである
- ・スーパーなど買い物をするところが近くにない
- ・バスや駅が遠い
- ・街灯の暗い場所がある
- ・通勤・通学時の交通量が多くて(子ども、お年寄りが)心配です
- ・二葉小のスクールゾーンは交通規制にならないものか？(抜け道になっている)
- ・通りすがりにペットボトル等のゴミを捨てていく人が多い
- ・市道(県道)、農道に自動車等からジュースの缶やゴミを投げる人たちがいる
- ・いまだに犬のフンをそのままにしていく方がいる
- ・タイヤなどの不法投棄が見られる
- ・一ヶ所ゴミステーションを担当しているが、時折不法投棄があり困っている
- ・子どもがお友達の家へ行くときに、各家庭のルールなどを話したいが共働きでありなかなか話をする時間がない
- ・郊外ということもあり夜、暗い
- ・通学路 速度40kmなのにスピード出してくる車が多い
- ・通学路に歩道がない
- ・通学路で車がスピードを出して行くので、危なく心配
- ・道路が狭いところがあり、危険を感じることもある
- ・公園などでボール遊びができない
- ・車の抜け道で使用されており、子どもの通学路の安全性



- ・公園でのマナーを守らない
- ・子どもがいる家庭の人はわかるが、少し離れた年代の方になると顔と名前が一致しない事がある
- ・町内行事に若者の参加が少ない
- ・地域の行事に大勢の参加がほしい
- ・防災会で、避難訓練 救命講習会を行っているが、災害発生時の機能発揮が不安
- ・役員のなり手がいない
- ・75才以上の高齢者世帯が増えて、空き家になることが心配
- ・公共交通機関まで遠い
- ・コンビニに止まる早朝冷凍車の音がうるさい
- ・世帯数が多く顔を知らない
- ・高齢者世帯が多い
- ・町内に子どもがいない
- ・高齢者世帯が多くなり若い人が少ない
- ・未婚者が多い
- ・通学路の人通りがまったくない
- ・子どもの通学路に歩道がない事
- ・車の通りが多い
- ・道路がせまい
- ・街灯が少なく、夜になると暗い
- ・町内に消雪パイプが無く除雪に苦勞している
- ・すぐに集まる場所(集会場)がない
- ・町内活動参加者が少ない
- ・町内会、農家組合などの役員のなり手がいない
- ・高齢者の交通確保(移手段が不足している)
- ・鉄道、バスの東京直行便がない
- ・川の水が少ないため悪臭がして困る
- ・野良猫対策
- ・洪水、加治川は大丈夫？
- ・町内会費が高額である
- ・子ども達が少なくなった
- ・若い人が少ない
- ・高齢化が進んでいる
- ・ひとり親世帯が増え、行く末が心配
- ・未婚者が目立つ
- ・一人暮らしが増えてきた



- ・一人暮らし高齢者の家が増えた
- ・高齢者のみの世帯が増加している
- ・認知症の人が多
- ・徘徊高齢者がいる
- ・ニート・引きこもりが町内にいるが「助けて」と声を出さないのが心配
- ・空き家が増えてきている
- ・消雪パイプが整備されていない
- ・交通量が多すぎる
- ・橋が渋滞する
- ・一部地域はバスが走っていない
- ・バスがないなど年取ると買い物に困る
- ・生け垣が伸び放題で見通しが悪い所がある
- ・子どもが多く事故に注意が必要
- ・最近空き巣がいる
- ・ゴミのポイ捨てが多い
- ・分別しないでゴミを出す人が多い
- ・指定日以外にゴミを出す方
- ・工場から川への落下物がある
- ・野良猫・飼い犬のフンそのままにしている人がいて困る
- ・犬の鳴き声がうるさい
- ・新発田川の水量が少ない
- ・高齢になっても運転しなければなら
- ・相談窓口や相談の仕方がわからない（社協、行政）
- ・支援が充実していない
- ・子どもが少なく高齢化社会
- ・高齢化が進み比率が高い
- ・高齢者で一人世帯が増加
- ・一人暮らしの方の冬が心配
- ・子どもの数が少ない
- ・自分が高齢者になったら、いろいろと行末が心配です
- ・近所つきあいが少ない
- ・空き家が増加している
- ・町内に小学生が一人なので行事が出来なく活気がない
- ・未婚者が多い
- ・町内行事への役員のなり手がいない
- ・町内会長の後継者がいなくなるのが心配
- ・ぬけ道で使われるので、車が通るのがこわい
- ・道路が狭く除雪できないところもある
- ・通学路の草が多く刈っていただきたい
- ・公園が小さい
- ・公園に遊具をふやしてほしい
- ・公園のわきが田んぼなので柵がほしい
- ・医者が近くにいない
- ・資産価値が低い土地である
- ・カラスが多い
- ・老人クラブに入る人が少ない
- ・町内の交流がない
- ・最近交通量が多くなり事故が多くなった
- ・近くに加治川の堤防がありゴミが捨てられる
- ・一人暮らしの方がいる
- ・空き家が増えた
- ・不審者に対しての見守りについて
- ・回らん板のまわりが遅い
- ・一人暮らしの方の健康を気づかい支えていくにはどうしたらよいか
- ・結婚をしていない人がいる
- ・高齢者の割合が多い
- ・子どもがいない
- ・少子化が進んでいる
- ・後継者がいない
- ・変な電話が多い
- ・出来る事出来ない事もあるので、なんでもかんでも役員がやるもんだと思っていられる事が苦しい
- ・本屋が近くに無くなった
- ・バスなどの公共交通の悪さ
- ・野良猫が多く困っている
- ・川に何でも捨てる人がいる
- ・日中犬の声に困っている



3 こんな地域であつたらいいな

- ・子どもが多い地域でありたい
- ・よその子ども、叱ってくれる大人が増えること！
- ・認知症・障がい者にやさしい地域をめざせ！
- ・高齢化社会に便利な地域
- ・町内でなんでも話し合える地域（良い事も悪い事も）
- ・明るくあいさつができる
- ・地域の団結を強める（今回の様にみんなで考える）
- ・人と人との会話は感情を込めてやさしく話をしたらと思う時がある
- ・災害が少なく住み良い、この地区（町内）を大事にし、更に前進させる
- ・小型のコミュニティバスが町内を巡回する
- ・二葉地区の町部にコミュニティセンターが欲しい
- ・蛍が生息する地域であれ！
- ・老若男女一緒に出来るレクリエーションがあつたらいい
- ・町内会にもっと若い人が出るとよいと思う
- ・大人や子どもが活動できる、町内まつり等を継続することで、より密になると思う
- ・町内が一つになる行事があつたらいいな（とりあえず防犯活動訓練に力を入れている）
- ・行事に多く参加する町内会
- ・町内のクリーン作戦など参加する方がほしい決まってきたので積極的に参加していただければ交流もできるのでは
- ・ご近所さんの顔がわかる
- ・顔と名前が、もっとわかればコミュニケーションも広がると思う
- ・若い人、高齢の人をもっと意見を言い合えればと思う
- ・気がねなくあいさつが交わされる地域
- ・子どもが伸び伸びと遊べる場所があつたら良い（ボール遊び等のできる所）
- ・小さい子どもからお年寄りまで気軽に利用できる所があつたら良いかな
- ・地域の防犯活動情報の共有が出来る町内に
- ・緑の多い地域
- ・笑顔で会話がはずむ町内
- ・あいさつのできるまち
- ・村祭りに子どもがたくさん集まるようになればよい
- ・盆踊り仮装踊りなどなくなり寂しい復活すると良い
- ・元気な町内会であること
- ・町内会役員のなり手が多くと良い
- ・若い人が勤務できる大企業が近くにあつたらよい
- ・働く場所が増え若い人の流出が無くなればよい
- ・若い人たちが町内行事に参加 多くなれば良い
- ・子ども、若い世帯が増えてほしい
- ・困ったときお互いに助け合い出来る地域になると良い
- ・一人暮らし世帯への声かけを行う
- ・助けてもらいたい時すぐかけつける町内
- ・高齢者、一人暮らし世帯の緊急事態発生時の通報装置の設置があればよい
- ・安全で安心して過ごせる
- ・子ども達が安全で遊べる場所
- ・子どもが安心・安全に過ごせる地域
- ・デマンドバス化の早期実現
- ・近所にお店のある地域
- ・子どもが多くにぎやかな地域
- ・町内人口が増加してにぎやかな町内であってほしい
- ・笑顔のある地域であってほしい
- ・一人でも安心して暮らせる
- ・認知症に対して優しい
- ・ご近所仲良く 困った時、頼んだりできる雰囲気 助け合えたらいい
- ・お互い理解を深めあい、仲良く暮らしてもらいたい
- ・子どもと高齢者にたくさん交流がある
- ・お年寄りも子どもも一同に公園で遊んでほしい
- ・若い人のエネルギーとお年寄りの知恵が地域を元気にする
- ・サロン会に多くの人が出てほしい
- ・町内の催しに、より大勢の人に来てほしい
- ・福祉問題を町内会で話し合い、少しでも解決していける様な地域になってほしい
- ・買い物しやすいよう、いろいろな店を大切にしたい
- ・未婚の人達が少なくなるように、もっと婚活を進めてほしい（市が主体で）
- ・市からの配布物を少なくしてほしい
- ・「農道を市道へ」要望早めに
- ・行事の設営に若い人がきてほしい
- ・誰でも誰にもあいさつができる地域
- ・会ったらあいさつの出来る町内でほしい
- ・祭り行事がないので祭りをしたい
- ・自分の子ども 孫 ひ孫と共に一つの屋根で住める様な地域





- ・子どもの数が多くなってほしい
- ・子どもが主体で祭り事をやりたい
- ・子どもを地域で育ててほしい
- ・悪い事をしていたらしかってほしい
- ・人と人とのつながりが強くなる
- ・町内での防災組織がほしい
- ・地域で助けあえる町、進んで自分がやろうとする意気ある町
- ・町内の家の数が多い 町内予算が多くほしい
- ・一人暮らし世帯への両隣の一声活動
- ・子どもの声が聞こえる町
- ・道路をゆう雪にしてほしい
- ・とまり組（歌曲）のような地域であったらよい 助けられたり助けたり
- ・高齢者と子ども達と一緒に集う会などあったらいいナア
- ・子どもや高齢者にやさしい地域
- ・子どもからお年寄りまで、多世代が楽しく暮らせる地域
- ・困っている人に、手助けが出来る体制作り
- ・町内をきれいに保つ心掛けを各自持って行動できる地域
- ・協調、思いやりのある町内であって欲しい
- ・何してもらおうのではなく、自分で何が出来るかを考える町内
- ・おせっかい ジイチャンバアチャンが大勢いる地域になるといいナア
- ・いろいろな行事に参加する人が多い地域
- ・毎年の町内の総会に出席して意見を述べたりしてほしい！（後での意見は対応が難しいので）
- ・なんでも意見の言える町内になってほしい
- ・人との話し合いができる地域
- ・子どもの声が多くなると良い
- ・昔のように子どもを地域で育てる意識
- ・児童公園に子ども達の声でにぎやかになってほしい
- ・高齢者が安心して医者に行ける様に、デマンドバス等がほしい
- ・デマンドバスの通る町内であったら良い

4 私たちにできること

- ・向こう三軒両隣のコミュニケーションを図る
- ・自ら進んで行事、会議等に参加し発言する事
- ・町内会の活動（事業）は大変重要である
- ・町内行事の参加
- ・町内会に積極的にかかわる
- ・地域の活動に積極的に参加！
- ・共同作業を通じてつながりを作る
- ・近所の異変等、気が付いたら市に連絡して対処する
- ・いろいろな楽しい出来事や見たり聞いたりしたことを年齢を問わず話題の中に教えてやりたいと思う
- ・一人暮らしの人に声をかける
- ・災害などがおきた場合一人暮らしのお年寄りをみんな協力しあって助けに行く
- ・一人で自力避難できない人を把握する事！
- ・自主防災組織は大変重要なので、避難訓練などを通じて町内の人の意識を高める
- ・無関心をなくせる地域に一致協力を！
- ・住民同士が関心を持つ事できずなになる
- ・町内会活動に積極的に参加し、もっと町を知る 関心を持つ
- ・明るい町内が出来様、一つになって頑張ってみたい
- ・犬の散歩で町内散策→町内の人と話せる 井戸端会議 →町内の人の情報得る
- ・あいさつをできる町内
- ・あいさつ、声かけ
- ・時間があれば散歩がてら近所を歩く
- ・行事に率先して参加
- ・知っている人とのつながりからのコミュニケーションが取れば良い
- ・一人暮らしの高齢者への手助け（除雪など）
- ・金魚台輪の引きまわしができる
- ・一人暮らしの人への声かけ（孤独にさせない）
- ・高齢者、一人暮らしの世帯に出来るだけ声かけをする
- ・町内の人と会話を行う





- ・笑顔と元気なあいさつ
- ・あいさつ運動
- ・積極的にあいさつをし、地域を明るくする
- ・積極的にあいさつをし、人とのつながりを大事にしていきたい
- ・ひとこと声をかけあう
- ・自分の住んでいる町内の人を一人でも多く知る
- ・一つでも決まった事を実行する
- ・元気な子ども達を育てること
- ・ゴミ拾いなどのボランティアに参加
- ・役にあてはまったら受ける
- ・町内の美化活動（草刈り、ゴミ拾い、川の除草）
- ・公園の除草
- ・川の清掃
- ・人と会ったら必ずあいさつする
- ・元気にあいさつをする
- ・声かけ運動
- ・誰にでも一声をかける
- ・近所の人となるべく関わるようにする
- ・子どもとお年寄りの見守りをする
- ・一人暮らし世帯への各種ボランティア
- ・町内行事を楽しく企画して実行 参加する
- ・地域行事に積極的に参加する
- ・問題点を話し合っ（予算を必要としない）できることから実施していく
- ・民生委員や行政との調整、支え合いの気持ちをつないでいきたい
- ・地域の人に認知症について学んで頂く機会を作る

- ・市・包括から町内にやってもらいたい事を提示してほしい
- ・町内の環境整備 特に河川の清掃・ゴミ拾い
- ・ゴミステーションの見守り活動を全家庭の協力で実施
- ・分別や減量への関心を持ってもらう
- ・車の運転マナーを守る
- ・朝のあいさつを進んでする
- ・高齢者や子ども達に向けてあいさつ活動を広く進めたい
- ・一人暮らしの人がいるので声をかけてあげる
- ・高齢者世帯に声がけしていきたい
- ・子ども達などの見守り
- ・進んで何事にも参画するところ
- ・小・中学校との連絡を密にして、安全確保につとめたい
- ・グループ活動の中での知己活動（老人クラブ）
- ・町内クリーン作戦
- ・町内のゴミ屋敷を無くす
- ・ボランティア活動に積極的に参加する
- ・ボランティアが盛んになる事
- ・自主防災活動の実施
- ・行事（まつり、バーベキュー大会、そば打ち）の開催
- ・子ども会で紙芝居をやっている
- ・となり組の方となんでも協力できる
- ・お互いの助けあい
- ・むずかしいことでも排除せず一緒に考えていく
- ・様々な意見を出し合い集約している事
- ・地域の現状と課題を調べる
- ・気軽に声をかけ合う（あいさつが基本）
- ・あいさつを心がける
- ・一人暮らしの人の見守り
- ・高齢者だけの世帯のお世話
- ・子ども達が楽しめる行事をしていく
- ・防災会に進んで参加できる
- ・町内会の行事には積極的に参加する
- ・近所つきあいを大事にする
- ・地域で出来ない事を行政等にお願いする
- ・どれだけ出来るかわからないですが頑張ります





6 参考資料

「新発田市地域福祉（活動）計画」の基本理念と体系

1 基本理念

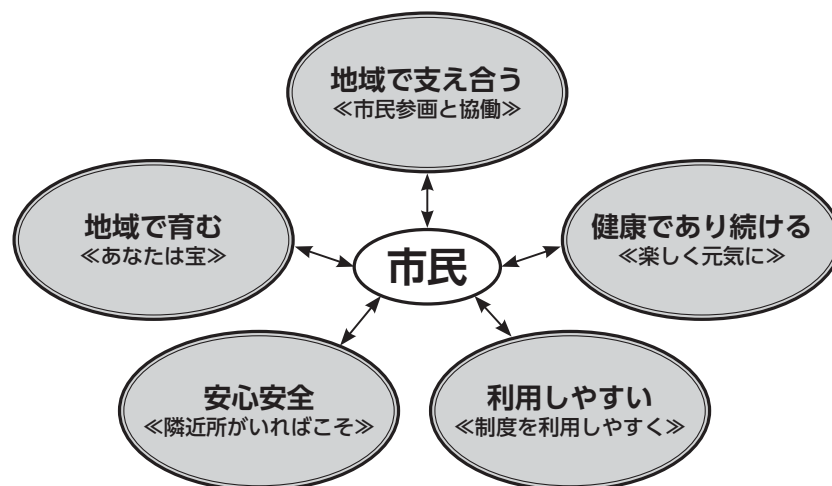
新発田市に暮らす子どもや若者から高齢者までの誰もが、新発田市の歴史と風土を大切に、新発田市民であることを誇りに思う新たな福祉の地域づくりをめざし、新発田市地域福祉（活動）計画の基本理念を次のものとします。

～新発田市地域福祉（活動）計画の基本理念～

すべての市民が住みなれた地域とともに支え合い
安心して暮らせる福祉の地域づくり

※「出来るものならば、ずっと育ってきた地域で自立して生きていきたい。」 だれもが望む幸せとは、このような当たり前のことではないでしょうか。

地域福祉（活動）計画は、顔の見える一定の地域を面として、「地域の市民力」「地域の資源力」「行政力」という3つの力を活かし、地域に住んでいる住民や地域で活動している民間団体や事業所が、社会生活を送るうえでお互いに支え合うというわかりやすい仕組みを、行政との協働により住民自ら創り、自ら地域の実態に即した活動を展開するためのものです。そのためには、「地域のことは地域で」（下図参照）を基本として、地域に暮らすだれもが笑顔の中に生まれ、自分らしく健康で自立した生活を送り、生きること喜びを見出していける地域社会の実現を目指します。



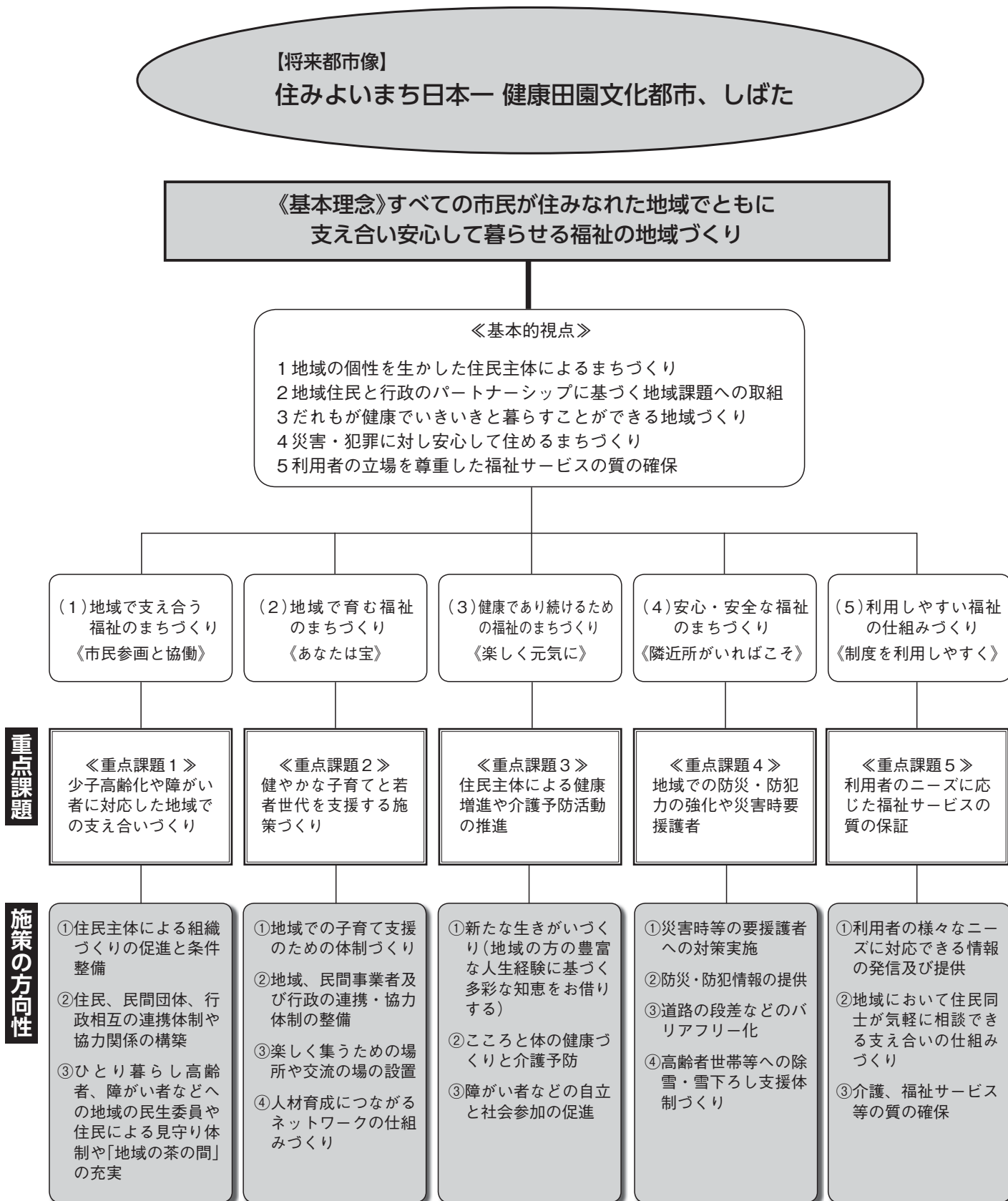
新発田市地域福祉（活動）計画は、地域福祉をより効果的に推進するため、市が策定する「地域福祉計画」と社会福祉協議会が住民とともに策定する「地域福祉活動計画」を一体化して策定したものです。新発田市及び新発田市社会福祉協議会のホームページに掲載されております。

問合せ先：新発田市社会福祉課
Tel 22-3101

新発田市社会福祉協議会
Tel 23-1000

2 計画の体系

新発田市は、以下の基本理念に基づき、それぞれの重点課題について、施策を実施しながら計画の推進に取り組んでいきます。



誰もが住み慣れた 地域で安心して 生活を送るために

地域の人と人とのつながりを大切に
にし、お互いに助けたり助けられ
たりする関係やその仕組みづくり
を目指して



第1回二葉地区福祉懇談会

日時 平成27年6月24日(水)

会場 子どもの館

参加者 住民67名

市・社協・包括・さんさん館23名

①開会挨拶

二葉地区町内会長会 藤田会長

②趣旨説明

新発田市 社会福祉課

③勉強会

新発田市社会福祉協議会

④グループワーク

「魅力あふれる二葉地区を目指して」

⑤閉会挨拶

二葉地区町内会長会 伊藤副会長

福祉活動計画の理解を深め

より顔の見える関係に

これからのまちづくりは、子どもから高齢者まで住民の誰もが住み慣れた地域の中で、心豊かに安心して暮らせるような仕組みをつくり、それを持続させていくことが求められています。

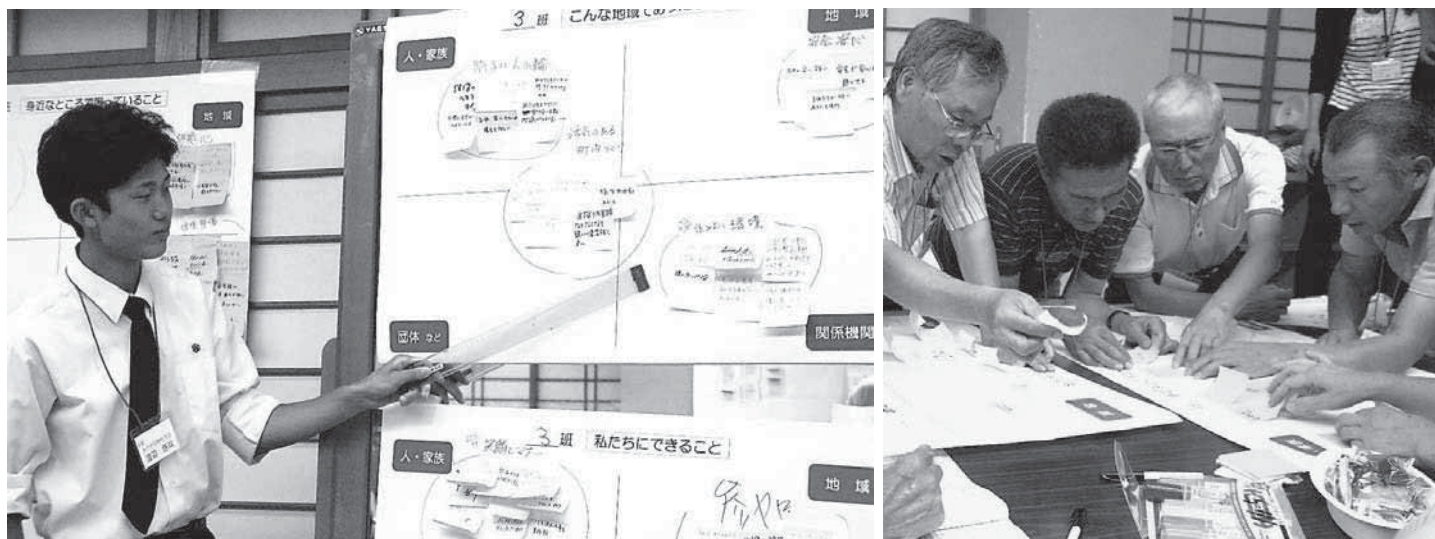
そのためには、さまざまな生活課題について住民一人ひとりの努力(自助)、住民同士の相互扶助(共助)、公的な制度(公助)の連携によって解決し

ていこうとする取り組みが必要です。

二葉地区福祉懇談会では、住民や関係団体、社会福祉協議会、行政が、福祉懇談会を通じて、地域の良いところや課題などを共有しながら、住民の行動計画である「二葉地区福祉活動計画」の策定を目指しています。

地域のすべての人が 自分らしく安心して暮らして いける地域を目指して

互いに支え合い、一人ひとりが自分たちのできる事を考え、地域福祉の基本的な考え方に基づいて、主体的に参加・協働する地域に向けて



第2回二葉地区福祉懇談会

日時 平成27年7月22日(水)

会場 中井保健センター

参加者 住民62名

市・社協・包括・さんさん館19名

①開会挨拶

二葉地区町内会長会 藤田会長

②グループワーク

- ・前回の振り返り及びまとめ
- ・地区の現状と課題の整理
- ・基本目標の検討
- ・グループ発表

③閉会挨拶

二葉地区町内会長会 伊藤副会長

ほっとけないの「気づき」を 伝える仕組みづくり

核家族化や少子高齢化によって「向こう三軒両隣」のような日本の古きよき伝統文化が姿を消しつつあります。

その結果、家族や地域とのつながりのカタチが変化し、地域の伝統文化や郷土愛も薄れ、地域資源が豊かであるにも関わらず継承が困難な状況になっています。

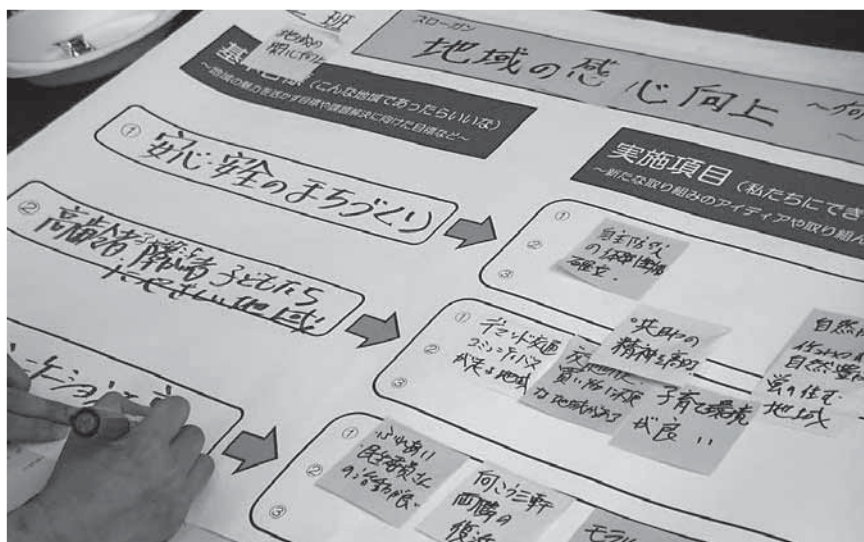
そのため“二葉地区福祉懇談会”では、より多くの住民に地

域への関心を持ってもらい、顔の見える地域づくりを基盤に「気づき」を伝える仕組みを目指します。

第2回懇談会では、グループごとに第1回懇談会で話し合われた4つのテーマ（地域の魅力・地域課題・これからの地域像・これから取り組めること）の内容を振り返りながら意見などを整理し、会場全体で共有しました。

地域のSOSを 見逃さない つながりのある 地域をつくる

地域のつながりを実感できるように
身近な地域で福祉活動を活性化し、
新しい地域づくりを目指します



第3回二葉地区福祉懇談会

日程 平成27年8月19日(水)

会場 中井保健センター

参加者 住民55名

市・社協・包括・さんさん館18名

①開会挨拶

二葉地区町内会長会 藤田会長

②グループワーク

- ・ 前回の振り返り及びまとめ
- ・ 基本目標の検討
- ・ スローガンの検討
- ・ グループ発表

③閉会挨拶

二葉地区町内会長会 伊藤副会長

これからの地域を話し合い

誰もが参加できる取り組みを目指して

ご近所の助け合いによって支えられてきた人々の暮らしが、生活の孤立化、複合的な課題を抱える世帯の増加、地域での連帯感の希薄化などがすすみ、制度の谷間にあって対応できない課題も多く生じてきています。

“二葉地区福祉懇談会”では、地域の住民が主体となって地域での支え合いをすすめる取り組みを活性化し、住み慣れた地域でこれまでの社会関係を維持し

ながら、誰もが生きがいを持ち、地域の社会資源として役割を発揮する地域づくりに向けて力を合わせる必要があります。

第3回懇談会では、第2回のグループワークで話し合われた内容を振り返りながら、整理したキーワードをもとに、二葉地区福祉活動計画の基本目標やスローガンを検討しました。

二葉地区編集委員会			
No	町内会名	所属及び役職	氏名
1	二葉地区町内会長会（緑町2丁目町内会）	会長	藤田 三男
2	二葉地区町内会長会（中田町町内会）	副会長	伊藤 健一
3	二葉地区町内会長会（下名柄町内会）	会計	織田敬司郎
4	二葉地区町内会長会（新富町三丁目町内会）	自治会連合会理事	渡辺 孝治
5	緑町2丁目町内会	保健自治会会長	田野 好子
6	緑町2丁目町内会	民生委員児童委員	長谷川千恵子
7	緑町2丁目町内会	主任児童委員	籠島 道子
8	新富町二丁目町内会	民生委員児童委員	齋藤 秀三
9	新富町二丁目町内会	子供会	小瀧 由美
10	中田町町内会	町内会副会長	板屋越甲二
11	小舟渡町内会	町内会会長	山口 石雄
12	あやめ団地町内会	町内会会長	富澤 勇雄
13	あやめ団地町内会	学生	渡邊 悠斗
14	島瀨町内会	前町内会会長	澁谷 正訓
15	長畑町内会	子供会	菅原 希
16	桑ノ口町内会	前町内会会長	小林 美雄

～みんなでつながる福祉のまちづくり～

編集：二葉地区編集委員会
新発田市・社会福祉法人新発田市社会福祉協議会

発行：平成27年12月

新発田市
〒957-8686 新発田市中央町4丁目10番4号

社会福祉法人新発田市社会福祉協議会
〒957-0054 新発田市本町4丁目16番83号

～みんなでつながる福祉のまちづくり～



島瀧町内会



桑ノ口町内会



下名柄町内会



道賀町内会



小舟渡町内会



緑町2丁目町内会



新富町二丁目町内会



中田町町内会



新井田町内会



西名柄町内会



長畑町内会



小舟町1丁目町内会



新富町三丁目町内会



あやめ団地町内会



中谷内町内会